



## 「明日につながる同好会活動」を目指して

### ～高めよう社会科の授業力を、広げよう仲間の輪を～

新学習指導要領の全面実施、令和4年度全中社研名古屋大会が迫る中、これからの名古屋の社会科教育を担う私たち同好会会員は、社会科の授業力を一層高めていかなければなりません。そのため、多くの人と関わりながら互いに授業力を磨き高めてきた社会科同好会の役割は、さらに大きくなると考えます。

こうした中で、もっと多くの会員が同好会活動に参加することを通して、会員が、今よりもさらに授業力が高まった、今よりも仲間の輪が広がったと思えるような同好会活動を進めていきたいと、今年度は「明日につながる同好会活動」をテーマにしました。

#### 「研究活動」

昨年度に引き続きこれからの名古屋の社会科教育の推進や授業力の向上に資するように、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、新学習指導要領で学習する内容の教材開発に重点を置き、子どもにとって楽しく学ぶことができる授業となるように研究活動に取り組んでいきたいと考えています。また、小・中学校部会の協議の時間を十分に確保したり、多くの会員に研究成果を還元できる発表になるように工夫したりと、各部会の進め方を見直していきます。



【4月全体会の様子】

#### 「研修活動」

授業づくり講座や授業力アップ研修グループ、昨年度から始まったステップアップ研修などを通して、積極的に協議に参加したり、先輩の先生に授業の相談をしたりする会員の姿が見られました。今年度も、参加者のニーズに応えながら、参加者が学んだことを明日からの授業に生かし、社会科の授業力を高めることができるように工夫したり、ステップアップ研修の体制を早期に確立したりして、さらに充実した研修活動に取り組んでいきたいと考えています。

詳細は、同封しました「活動計画基本案」に記してあります。ご一読いただき、今年度の同好会活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 【第276号 紙面】

「明日につながる同好会活動」を目指して	（p1）
4月全体会の様子	（p2・3）
声「4月全体会に参加して」、今後の予定	（p4）

## 4月全体会の様子

4月24日(水)に愛知県スポーツ会館において、4月全体会が行われ、130人を超える会員が参加しました。名古屋市社会科同好会会長の立岡昌之先生と社会科研究会委員長の内田真一先生にご挨拶をいただきました。

### <名古屋市社会科同好会会長 陽明小学校長 立岡 昌之 先生>

みなさんは、初めての仕事をもらったとき、どのような姿勢で取り組みますか。今まで通りに行いますか。自分なりにアレンジを加えますか。それとも、全て自分で作り直しますか。そもそも、その仕事がどのような経緯で始まったのかを理解しておくことが大切です。

社会科とは何か。社会科生誕70年として、日本教育新聞の平成29年9月25日付けの記事では、「当時、社会科は、青少年に日本国憲法の考え方を教え、民主主義社会の建設に寄与することを目指し、重視された。小学校では、980～1,050時間が充てられ、社会科は他の教科よりも重視された。社会科は、社会のことを理解・認識し、社会との関わり方を学ぶ教科であり、社会科を充実させることがよりよい国づくり、社会づくりにつながることを意味しているとされた」と書かれています。これまでの社会科の歴史を振り返ると、世の中が社会科に大きな期待を寄せていたことがよく分かります。



社会科同好会集録『あゆみ第1号』の中に、「社会科同好会会員は社会科が好きで、授業を追究している同志である」と書かれています。今年一年、「社会科を追究するんだ」「専門教科にしたい」という思いをもって取り組んでいってほしいと思います。名古屋市のように、小学校と中学校が連携して研究を進めているのは、とても素晴らしいです。これからも小学校と中学校が団結して進めていってほしいと思います。

### <名古屋市社会科研究会委員長 新栄小学校 内田 真一 先生>

私は、「楽しい授業をしたい」「子どもに社会科を好きになってもらいたい」という思いから同好会に入会しました。同好会に入会したことで、多くの先輩方から指導していただき、思い出に残る授業をすることができました。また、一緒に授業について話し合うことで、自分を支えてくれる仲間を得ることができました。



同好会の原点は、授業力の向上、人とのつながりをつくることにあります。不易と流行という言葉がありますが、不易はこの二点だと思います。一方で、流行としての働き方改革が求められる中で、同好会活動を見直していくことも必要になります。これまでの同好会の良さを残しつつ、新しい時代の同好会活動が推進されることを期待しています。また、研究会の役員一同、同好会の活動を共に作りあげていきたいと考えています。

今年度の全体会では、「明日につながる同好会活動」を目指し、会員が議論し合う場をよ

り多くつくっていきたいと考え、同好会への思いや社会科の授業力について、熱く話し合いました。

### <全体会参加者同士での話し合い>

○ どのような思いで同好会に参加していますか？

- ・ **社会科は、難しい教科だと感じ日々の授業で困っていた。**
- ・ **社会科の授業をうまくできるようになりたい。**
- ・ **先輩に声を掛けられて参加しようと思った。**
- ・ **同好会活動を通して、つながりをつくりたいと考えた。**
- ・ **同級生の活躍を聞いて、負けてたまるかという思いをもった。**
- ・ **教育実習や卒業論文でお世話になった先生に声を掛けられた。**
- ・ **子どもに社会科を好きになってほしい、社会科**



○ 社会科の授業力とは、どのような力でしょうか？



- ・ **単元を見通して授業をつくる力**
- ・ **一つの単元を指導していくスタミナ**
- ・ **子どもの発言を引き出す力**
- ・ **地域を理解する力**
- ・ **子どもを引き付ける資料を探し出す力**
- ・ **課題意識、問題意識を引き出す力**

○ 授業力を高めるために、どのようなことをしていますか？

- ・ **講演会に参加している。**
- ・ **新聞やニュースを欠かさずにチェックしている。**
- ・ **教材を見付けるために、何事にも疑問をもつようにしている。**
- ・ **同好会の先輩から学んでいる。**
- ・ **子どもの記述を丁寧に見取るようにしている。**



会員同士が熱く、活発に話し合う全体会になりました。今後も「明日につながる同好会活動」を目指して、授業力を高め、人とのつながりを深める同好会活動を進めていきます。



## 4月全体会に参加して

4月全体会で寄せられた「声」の中から一部を紹介します。

- 平和が丘小学校 小林 直寛 先生  
話し合いを通して、同好会に参加している先生方が社会科にどのように向き合っているかが分かりました。授業力を高めることができるように、積極的に研修に参加していきたいです。
- 熊の前小学校 近藤 丈博 先生  
他校の先生と話す機会を得られたことがよかったです。同好会に入ったきっかけや社会科の授業力を高める方法を振り返ることができました。
- 笈瀬中学校 土田 圭介 先生  
今後の同好会活動で、先輩の話を聞いたり、授業のアイデアを得たりして、子どもが楽しめる授業づくりをしていきたいです。
- 宝神中学校 杉本 晴奈 先生  
他校の先生の話が聞けて楽しかったです。新学習指導要領についてもっと学びたいと思いました。同好会に足を運んで、もっと力を付けたいと思いました。



## 今後の予定



**6月11日（火）授業づくり講座① 19:00～ 愛知県スポーツ会館**

**7月24日（水）小学校部会 18:30～ 中小企業振興会館**  
**中学校部会 18:30～ 丸の内中学校**

**8月8日（木）フィールドワーク 未定**

- 授業づくりにつながる施設・場所の見学  
※ 行き先が決まり次第、お知らせします。

**8月23日（金）授業づくり講座② 18:00～ 愛知県スポーツ会館**

- 講座後、研修グループでの懇親会も予定しております。

